cQ		HQ_02:一般労働者に対して、	DHTを用い	いたマインドフルネスによる	る介入は、メンタルヘルス不	
C	Q	調の一次予防に有用か				
Р	一般労働		I	DHTを用いたマイン	ドフルネスによる介入	
С	待機群、	通常治療群、アクティブコント	0	介入終了後調査問	寺点での抑うつ症状	
研究デ	ザイン	RCT	文	<b>京献数</b> 9		
	- <b>F</b>	Bostock S, 2019; Deady M, 20 Luangapichart P, 2022; Pratt E				
モラ	デル	変量効果	方法			
効果	指標	Cohen's d	統合値	-0.28 ( -0.545 to -0	.015 ) P= 0.038	
フォ <sup>し</sup> プロ		### \$400,000 ct.   \$4				
ファンプロ		コメント:  ファネルブロット  1 次調を - 95% 疑似信頼区間 一機変を体効果サイズ (観測された 調査)  Cohen の d(H)  コメント: Eggers test was not significant (P=.857)				
その他の解析				コメン	· ト:	
2 47 16						
メタリグ レッション						
感度分析						

CQ		HQ_02:一般労働者に対して、	DHTを用	いたマインドフルネスによる	介入は、メンタルヘルス不	
		調の一次予防に有用か		_		
Р	一般労働		I	DHTを用いたマインド		
С		通常治療群、アクティブコント	0	介入から6か月後調査!	時点までの抑うつ症状 	
研究デ	ザイン	RCT		<b>で献数</b> 3		
	- F	Deady M, 2023; Keng SL, 2023	2; Luanga	pichart P, 2022		
Ŧ:	デル	変量効果	方法			
効果	!指標	Cohen's d	統合値	-0.395 ( -0.930 to 0.13	39 ) P= 0.147	
	レスト	### 24500mBerror   10mm recording   24524-700ph   24500mBerror   10mm recording   24524-700ph   24500mBerror   10mm recording   10mm recordi				
	ンネル	0.05 0.05 0.15 0.20 0.25 -1.0 -0.8 -0.6	Cohen Ø	-0.2 0.0000 0.2 d(H)	<ul> <li>● 1 次調査</li> <li>- 95% 疑似信頼区間</li> <li>- 推定全体効果サイズ (観測された 調査)</li> </ul>	
<b>その他</b> メタリグ レッション	の解析			コメン	<b>F</b> :	
感度分析						

CQ		HQ_02:一般労働者に対して、	DHTを用い	いたマインドフルネスによ	る介入は、メンタルヘルス不
	_	調の一次予防に有用か		I	
Р	一般労働		I		
C		通常治療群、アクティブコント 	0		E時点での不安症状 
研究デ	ザイン	RCT		(献数 9	
п-	- ド	Bostock S, 2019; Deady M, 20 Luangapichart P, 2022; Pratt &			
<del>T</del> 5	デル	変量効果	方法		
効果	指標	Cohen's d	統合値	-0.223 ( -0.357 to -0	0.089 ) P= 0.001
	### A STATE OF THE PROPERTY (*** 1987-1988)				
ファンネル プロット		0.1 0.2 0.3 0.3 0.75 0.50 コメント: Eggers test was i	-0.25 Cohen Ø G		● 1 次調査 95% 疑似信頼区間 - 推定全体効果サイズ (観測された 調査)
その他の解析					ント:
メタリグ レッション 感度分析					
.5.,2,7,7,7,7					

CQ			DHTを用い	いたマインドフルネスによる介え	入は、メンタルヘルス不
	<u>~</u>	調の一次予防に有用か	_	•	
Р	一般労働		ı	DHTを用いたマインドフ	
С		通常治療群、アクティブコント	0	介入から6か月後調査時	点までの不安症状
研究デ	ザイン	RCT		<b>工献数</b> 3	
Deady M, 2023; Keng SL, 2022;			pichart P, 2022		
	デル	変量効果	方法		
効果	指標	Cohen's d	統合値	-0.146 ( -0.447 to 0.154	) P= 0.34
フォリプロ			Control  Active control  Active control  ———————————————————————————————————	4-1/338	6
ファンプロ	ノネルット	0.00 0.05 0.15 0.15 0.20 0.25 -0.6 -0.4	O2 Cohen		1 次調査     - 195% 疑似信頼区間     推定全体効果サイズ (観測された 調査)
その他	の解析			コメント	:
メタリグレッション					
感度分析					

CQ		HQ_02:一般労働者に対して、DHTを用いたマインドフルネスによる介入は、メンタルヘルス不				
		調の一次予防に有用か				
Р	一般労働	者 ————————————————————————————————————	I	DHTを用いたマインド	フルネスによる介入	
С	待機群、	通常治療群、アクティブコント	0	介入終了後調査時点での	D心理的ストレス反応	
研究デ	ザイン	RCT	文	<b>文献数</b> 3		
Bartlett L, ⊐-ド		Bartlett L, 2022; Hirshberg M		amura K, 2022		
モラ		変量効果	方法			
効果	指標 ————	Cohen's d	統合値	-0.263 ( -0.550 to 0.02	P= 0.072	
フォレプロ		## REPORTED TO SERVICE   DRIVEN TO SERVICE   D	43 48	43 42 8300 52	-	
ファンプロ		0.05 0.05 0.15 0.15 0.20 -0.8 -0.6	Cohen		<ul> <li>● 1 次調査</li> <li>- 95% 疑似信頼区間</li> <li>- 推定全体効果サイズ (観測された調査)</li> </ul>	
				コメン	<b>\</b> :	
その他	の解析					
メタリグレッション						
感度分析						

CQ		HQ_02:一般労働者に対して、DHTを用いたマインドフルネスによる介入は、メンタルヘルス不				
	·Q	調の一次予防に有用か				
Р	一般労働	者	I	DHTを用いたマインドフルネスによる介入		
С		通常治療群、アクティブコント	0	介入終了後調査時点での主観的ストレス		
研究デ	ザイン	RCT	文	な献数 11		
コード				eRoque MA, 2021; Hwang WJ, 2019; Lilly M, 2019; Purdie DR, 2022; Rich RM, 2021; Taylor H, 2022; Xu F		
Ŧ:	デル	変量効果	方法			
効果	:指標	Cohen's d	統合値	-0.293 ( -0.484 to -0.102 ) P= 0.003		
	ンスト ット	The properties   The	-	26-33 7000  4-3191		
		コメント:				
	ンネル ット	0.0 種類 0.1	-0.5 Cohen Ø d			
		コメント: Eggers test was r	not signific	cant (P=.951)		
その他の解析				コメント:		
メタリグ						
レッション		-				
感度分析						

CQ		HQ_02:一般労働者に対して、	DHTを用いたマインドフルネスによる介入は、	メンタルヘルス不
	, Q	調の一次予防に有用か		
Р	一般労働	·····································	Ⅰ DHTを用いたマインドフルネス	スによる介入
С	待機群、	通常治療群、アクティブコント	O 介入から6か月後調査時点までの	主観的ストレス
研究デ	ザイン	RCT	文献数 4	
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		Deady M, 2023; Lilly M, 2019;	Luangapichart P, 2022; Xu H, 2022	
	デル	変量効果	方法	
効果	指標	Cohen's d	<b>統合値</b> -0.309 ( -0.731 to 0.114 )	P= 0.152
### AND			ANAL AND ANAL AND ANAL AND ANAL AND ANAL AND ANAL AND ANAL ANAL	
			ファネル・オロット	
	ンネル ット	0.00 0.05 0.15 0.15 0.20 0.25 -1.2 -1.0 -0.8	95% 推奨 	な調査 6 疑似信頼区間 E全体効果サイズ (観測された E)
		コメント: Eggers test was	not significant (P=.573)	
その他の解析			コメント:	
メタリグ		-		
メダリクレッション				
感度分析		1		
.5.5575 771				

CQ		HQ_02:一般労働者に対して、	DHTを用り	いたマインドフルネスによる介え	入は、メンタルヘルス不
C	Q	調の一次予防に有用か			
Р	一般労働	<del></del> 者	I	DHTを用いたマインドフ	ルネスによる介入
С	待機群、	通常治療群、アクティブコント	0	介入終了後調査時点	での睡眠症状
研究デ	ザイン	RCT	文	· <b>大献数</b> 5	
Fiol-DeRoque MA, 2021; Keng		g SL, 2022;	; Purdie DR, 2022; Querstret D,	2017; Sis Çelik A, 2023	
モラ		変量効果	方法		
効果	指標	Cohen's d	統合値	-0.498 ( -1.513 to 0.516	) P= 0.336
フォレ プロ		### AND THE PROPERTY   THE PROPERTY			
ファン プロ		0.0 標準設差 0.1 0.3 -2.5 -2.0 -1.	5 -1.0 Cohen 0		● 1 次調査 - 195% 疑似信頼区間 推定全体効果サイズ (観測された 調査)
		コメント: Eggers test was i	not signific	cant (P=.613)	
				コメント	<u> </u>
その他	の解析				
メタリグ レッション					
感度分析					

CQ			DHTを用いたマインドフルネスによる介入は、メンタノ	レヘルス不
		調の一次予防に有用か		
Р	一般労働		Ⅰ DHTを用いたマインドフルネスによる	
С		通常治療群、アクティブコント 	0 介入終了後調査時点でのトラウマ症	状
研究デ	ザイン	RCT	<b>文献数</b> 3	
コード		Fiol-DeRoque MA, 2021; Keng	g SL, 2022; Taylor J, 2020	
モラ	デル	変量効果	方法	
効果	指標	Cohen's d	<b>統合値</b> 0.021 ( -0.148 to 0.191 ) P= 0.8	:05
フォ l プロ	ンスト ット	B	294.24 7500-1	
			ファネル プロット	
ファンプロ	ノネル ット	のの 0.1 (現 0.2 () 2 () 3 () 4 () 5 () 7 () 7	- 1 次調査 - 95% 疑似信頼区 推定全体効果サ のの 0.5 1.0 Cohen の d(H) not significant (P=.758)	
		コメント・ Eggers test was	not significant (P=.758)	
その他	の解析		コメント:	
メタリグ				
レッション		_		
感度分析				

CQ		HQ_02:一般労働者に対して、	DHTを用い	nたマインドフルネスによる介	入は、メンタルヘルス不
		調の一次予防に有用か			
Р	一般労働		I	DHTを用いたマインドス	
C		通常治療群、アクティブコント 	0	介入終了後調査時点で	<b>ごのバーンアウト</b>
研究ア	ザイン	RCT		献数 9	. D. 0000 D: FII
		Deady M, 2023; Fiol-DeRoque 2023; Purdie DR, 2022; Taylor			rt P, 2022; Pratt EH,
Ŧ:	デル	変量効果	方法		
効果	指標	Cohen's d	統合値	-0.172 ( -0.416 to 0.071	P= 0.165
	レストット			11300	
	ンネルット	0.0 0.1 0.2 0.3 0.4 0.5 -1.5 -1.0	-0.5 Cohen 0		<ul> <li>○ 1次調査</li> <li>95% 疑似信頼区間</li> <li>― 推定全体効果サイズ (観測された調査)</li> </ul>
その生	 !の解析			コメント	:
-C 0710	シマンガチガー				
メタリグ					
レッション		_			
感度分析					

CQ		HQ_02:一般労働者に対して、DHTを用いたマインドフルネスによる介入は、メンタルヘルス不				
	, Q 	調の一次予防に有用か				
Р	一般労働	者	I	DHTを用いたマイ	ンドフルネスによる介入	
С		通常治療群、アクティブコント	0		査時点までのバーンアウト	
研究デ	゚゙ザイン	RCT	文	<b>工献数</b> 4		
コード		Deady M, 2023; Keng SL, 202	?2; Luanga	apichart P, 2022; Xu H, 20	<u>)</u>	
Ŧ:	デル	変量効果	方法			
効果	指標	Cohen's d	統合値	-0.161 ( -0.580 to	0.257 ) P= 0.45	
B 680-086-1/C   1-88-7-206828			d 19			
ファンネル プロット		0.00 0.05 標準 0.10 変差 0.15 0.20 0.25	-0.25 Cohen Ø G		● 1 次調査 95% 疑似信頼区間 - 推定全体効果サイズ (観測された 調査)	
		コメント: Eggers test was	not signific	cant (P=.725)		
その他の解析				コノ	<b>メント</b> :	
メタリグ レッション 感度分析						

CQ		HQ_02:一般労働者に対して、	DHTを用り	いたマインドフルネスによるタ	个入は、メンタルヘルス不
	.Q	調の一次予防に有用か			
Р	一般労働	者 ————————————————————————————————————	I	DHTを用いたマインド	フルネスによる介入
С	待機群、	通常治療群、アクティブコント	0	介入終了後調査時点で	のウェルビーイング
研究デ	ザイン	RCT	文	7 7	
Bostock S, 2019; Deady M, 202 H, 2022; Xu H, 2022		23; Hirshb	erg MJ, 2022; Hwang WJ, 20	19; Keng SL, 2022; Taylor	
<del>T</del>	デル	変量効果	方法		
効果	:指標	Cohen's d	統合値	0.244 ( 0.111 to 0.37	8 ) P= <.001
	ンスト ット			53000 	
	ンネル ット	コメント: ファネルブロット • 1 次調査 - *95% 疑似信頼区間			95% 疑似信頼区間 - 推定全体効果サイズ (観測された
				コメン	k ·
その他	の解析				· ·
メタリグ レッション 感度分析					

CQ		HQ_02:一般労働者に対して、DHTを用いたマインドフルネスによる介入は、メンタルヘルス不				
	Q	調の一次予防に有用か				
Р	一般労働:	者	I	Ⅰ DHTを用いたマインドフルネスによる介入		
С	待機群、	通常治療群、アクティブコント	0	介入から6か月後調査時点ま	でのウェルビーイング	
研究デ	ザイン	RCT	文	<b>工献数</b> 4		
コード		Deady M, 2023; Hirshberg MJ		eng SL, 2022; Xu H, 2022		
+ <del></del>		変量効果	方法	,		
効果	指標 ————	Cohen's d	統合値	0.148 ( -0.012 to 0.308	) P= 0.07	
R. (ADECOUNTS)		usetral sustantial	5.0700	1/0		
ファンプロ		の.00 0.05 0.05 0.15 0.15 0.20 0.25 -0.4 -0.2	0.0000 Cohen		● 1次調査 - 195% 疑似信頼区間 推定全体効果サイズ (観測された 調査)	
7 - 11 - 121		コメント:				
その他の解析						
メタリグレッション						
感度分析						

CQ		HQ_02:一般労働者に対して、DHTを用いたマインドフルネスによる介入は、メンタルヘルス不				
		調の一次予防に有用か				
Р	一般労働:	者	I	Ⅰ DHTを用いたマインドフルネスによる介入		
С	待機群、	通常治療群、アクティブコント	0	介入終了後調査時点:	での心理的ウェルビーイング	
研究デ	ザイン	RCT	文	<b>工献数</b> 8		
コード		Bartlett L, 2022; Hirshberg MJ, 2022; Keng SL, 2022; Luangapichart P, 2022; Rich RM, 2021; Taylor H, 2022; Taylor J, 2020; Xu H, 2022				
モラ		変量効果	方法			
効果	指標	Cohen's d	統合値	0.184 ( 0.101 to	0.268 ) P= <.001	
フォレスト プロット			1.10(1)			
ファンプロ		0.0 0.1 0.1 0.2 2 2 3 0.4 0.5 0.6 -1.0 -0.5	Cohen		● 1 次調査 - 195% 疑似信頼区間 - 推定全体効果サイズ (観測された 調査)	
				- I-	////	
その他の解析					メント:	
メタリグ レッション 感度分析						

CQ		HQ_02:一般労働者に対して、DHTを用いたマインドフルネスによる介入は、メンタルヘルス不				
	·	調の一次予防に有用か				
Р	一般労働:	者	I	DHTを用いたマインドフルネスによる介入		
С	待機群、	通常治療群、アクティブコント	0	介入から6か月後調査時点まで	での心理的ウェルビーイ	
研究デ	ザイン	RCT	<del>ک</del>	<b>文献数</b> 4		
コード		Hirshberg MJ, 2022; Keng SL, 2022; Luangapichart P, 2022; Xu H, 2022				
<del>-</del>		変量効果	方法			
効果	指標	Cohen's d	統合値	0.255 ( -0.013 to 0.523	) P= 0.062	
# 0 0000000では、			0.7940C			
				ファネル プロット		
標準誤差 ファンネル プロット		の.00 0.05 0.15 0.20 0.25 0.0 コメント: Eggers test was	02 Cohen not signific	0.4 0.6 0.8 Ø d(H)	<ul> <li>● 1次調査</li> <li>95% 疑似信頼区間</li> <li>- 推定全体効果サイズ (観測された 調査)</li> </ul>	
その他の解析				コメント	:	
メタリグ レッション						
感度分析						

CQ		HQ_02:一般労働者に対して、	DHTを用いたマインドフルネスによる介力	は、メンタルヘルス不	
		調の一次予防に有用か			
Р	一般労働	者	┃ DHTを用いたマインドフ	DHTを用いたマインドフルネスによる介入	
C 待機群、		通常治療群、アクティブコント	介入終了後調査時点での	精神健康関連QOL	
研究デ	ザイン	RCT	文献数 3		
コード		Bartlett L, 2022; Deady M, 202	23; Luangapichart P, 2022		
Ŧ.	デル	変量効果	方法		
効果	:指標	Cohen's d	<b>統合値</b> 0.395 ( -0.173 to 0.963	) P= 0.173	
フォリプロ	ンスト ット	### 2000-000-00   Mana-Condension  ### 2000-000-00   Mana-Condension  ### 2000-000-00   Mana-Condension  ### 2000-000-000  ### 2000-000-000  ### 2000-000-000  ### 2000-000-000  ### 2000-000-000  ### 2000-000-000  ### 2000-000-000  ### 2000-000-000  ### 2000-000-000  ### 2000-000-000  ### 2000-000-000  ### 2000-000-000-000-000  ### 2000-000-000-000  ### 2000-000-000-000  ### 2000-000-000-000-000  ### 2000-000-000-000  ### 2000-000-000-000-000  ### 2000-000-000-000-000  ### 2000-000-000-000-000  ### 2000-000-000-000-000  ### 2000-000-000-000-000-000  ### 2000-000-000-000-000-000-000-000  ### 2000-000-000-000-000-000-000-000-000-00			
			ファネル プロット		
	ンネル ット		2 0.4 0.6 0.8 1.0 Cohen Ø d(H)	<ul> <li>● 1次調査</li> <li>- 95% 疑似信頼区間</li> <li>推定全体効果サイズ (観測された 調査)</li> </ul>	
Leggers test was not significant (1 –.040)					
その4	の解析	コメント:			
- C 07 [B	· ンガ <del>ギ</del> 切 i				
メタリグ					
レッション					
感度分析					